

CAMIP構想の概要

**名古屋大学 未来社会創造機構
モビリティ社会研究所**

教授 森川高行

2021年5月20日

2013~2021年度 COI° 吹上全国18拠点のうちの1つ

1. 産学連携による拠点マテリアルでプロジェクトを推進

トヨタ自動車：畔柳プロジェクトリーダー
名古屋大学：森川研究リーダー



2. アダプトによる産学官の研究開発

トヨタ自動車、AGC、パナソニック、KDDI総合研究所、愛知県、豊田市、名古屋市、春日井市、幸田町、産業技術総合研究所、東京農工大学、愛知県立大学、東京工業大学、政策研究大学院

3. バックキャストによるビジョン設定

高齢者が元気になるモビリティ社会

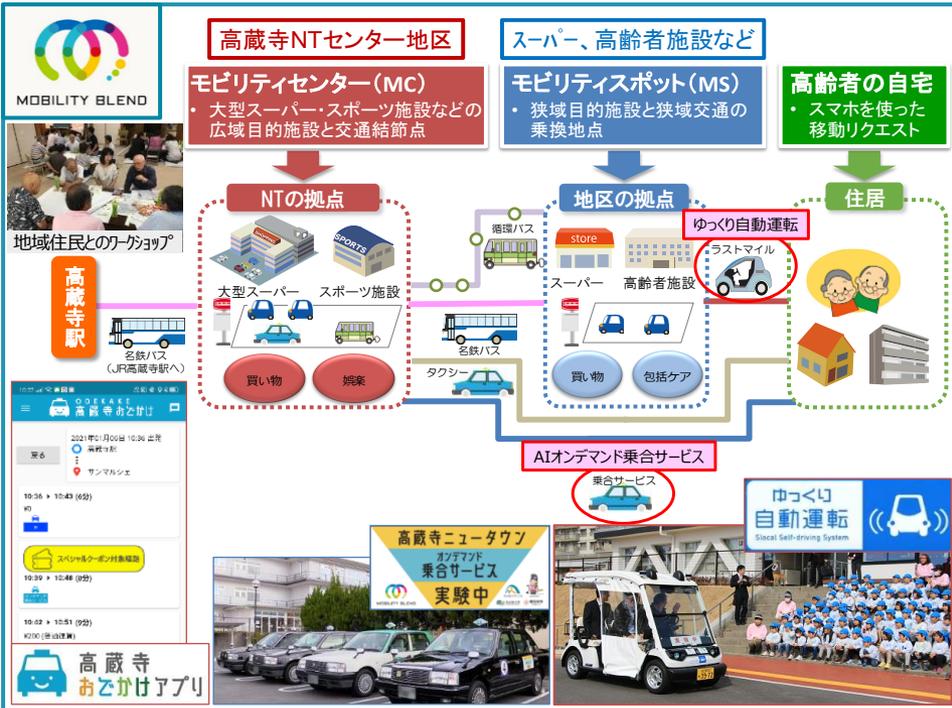
ビジョン実現を目指し、社会実装する研究開発テーマ



社会変革を目指した自治体との連携活動



春日井市高蔵寺ニュータウンをフィールドに『モビリティブレンド』や『ゆっくり自動運転』など名古屋大学COIで培った技術を、新たなニュータウン版移動サービスとして実装すべく活動中



『ニューモビリティタウン構想』
実現に向け、地域共創の視点でニュータウンに関わる社会課題解決を目指す



連携と協力に関する協定締結 (2021)

中部先進モビリティ実装プラットフォーム

(Chubu Advanced Mobility Implementation Platform, CAMIP)

【CAMIP設立の背景】

- CASE, MaaSなど、100年に一度のモビリティ変革
- ポストコロナ時代により鮮明になる、「選ばれる地域」の時代へ
- 中部圏はモビリティ産業の世界的メッカ

中経連 産業・技術委員会 (佐々木眞一委員長)

- リーディング産業（次世代自動車、航空宇宙）をはじめとする産業の技術高度化、振興に関する調査研究・提言及び要望・推進活動の展開
- 大学・公設試験研究機関等の産業利用の促進に資する活動の展開

名大 未来社会創造機構 (佐宗章弘機構長)

- 名古屋大学COI「人がつながる“移動”イノベーション拠点（2013～2021年度）
- COI-NEXT「FUTUREライフスタイル社会共創拠点」（2020年度～）

中部先進モビリティ実装プラットフォーム

(Chubu Advanced Mobility Implementation Platform, CAMIP)

輸送機械製造の世界的中心地である中部圏において、自動車のCASE革命を地域に実装してその価値を社会に還元し、また同時に産業をさらに振興させるとともに研究開発を促進させるための産学官のプラットフォームを構築する。中部経済連合会所属の企業、中部圏の自治体、中部圏の大学・研究機関が連携して、プロジェクトにおける組織マッチングや、モビリティ共通基盤の開発を行う。PFの幹事役を中経連及び名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所が担う。



中部先進モビリティ実装プラットフォーム

民間企業

名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、
岐阜大学、静岡大学、信州大学、愛知県立大学、
名城大学、大同大学、豊田都市交通研究所



世話役

名古屋大学

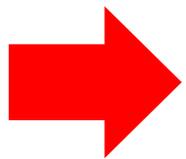


中部先進モビリティ実装プラットフォーム

(Chubu **A**dvanced **M**obility **I**mplementation **P**latform, **CAMIP**)

【CAMIP 3つの取り組み】

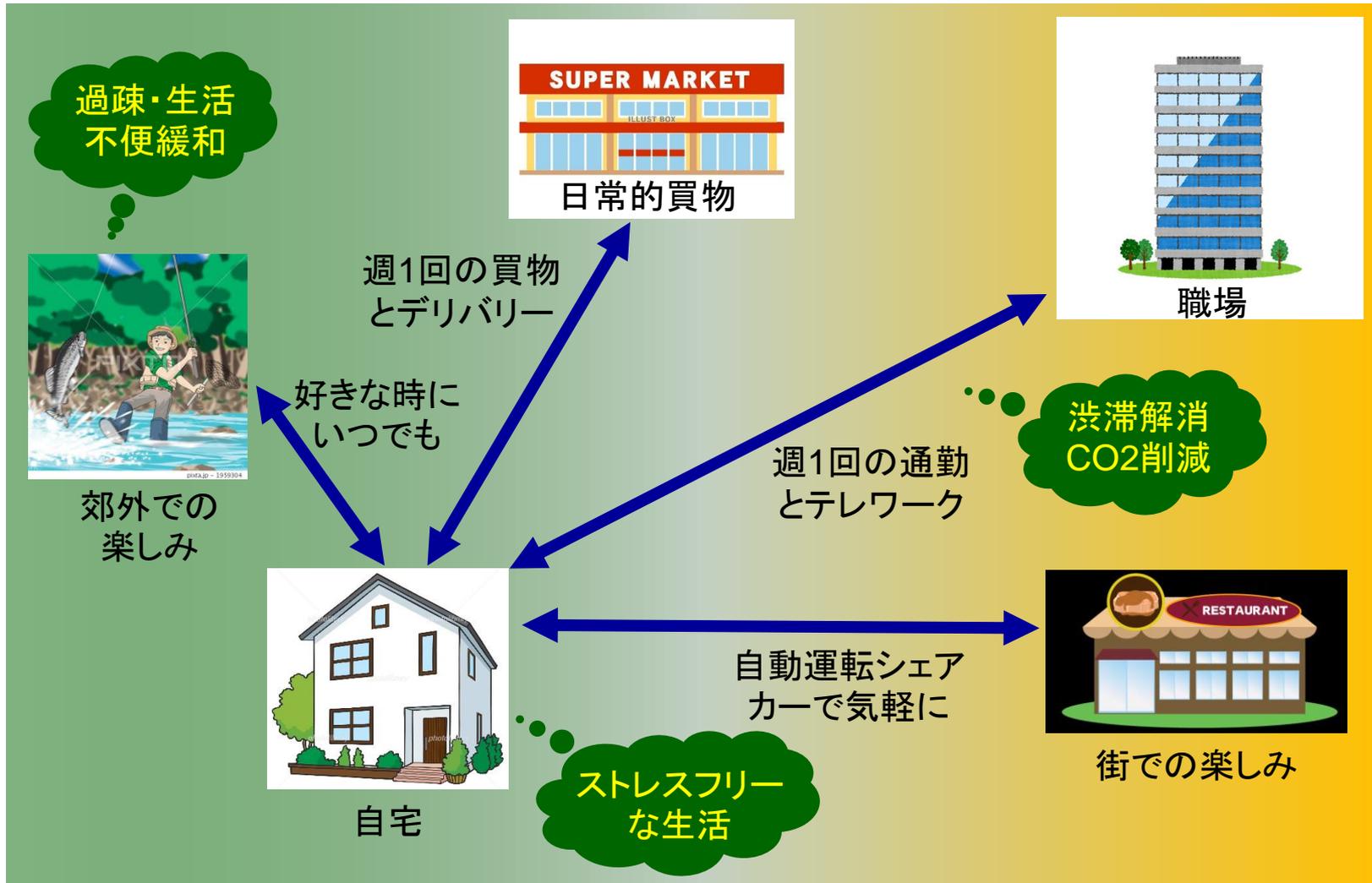
- ① 地域や風土に応じた「モビリティまちづくり」を、自治体などと連携して企画・設計すること
- ② 企画・設計した「モビリティまちづくり」を社会実装して、パッケージを進化させ続けること
- ③ 「モビリティまちづくり」に必須なビジネスモデルや要素技術を自らイノベーションすること



当面は進行中や構想中のプロジェクトの支援に注力し、徐々に自ら企画する重要プロジェクトを立ち上げる。

中部先進モビリティ実装プラットフォーム (Chubu Advanced Mobility Implementation Platform, CAMIP)

【CAMIPのビジョン例】 DXによる暮らし方改革



中部先進モビリティ実装プラットフォーム

(Chubu Advanced Mobility Implementation Platform, CAMIP)

COI-NEXT “FUTUREライフスタイル社会共創拠点”

少子高齢化

東京一局集中による生活ストレス増加、脆弱化（パンデミック、大規模災害他）

「生きがい」を諦めた活力低下社会

コロナインパクトの教訓をどう生かすか？
デジタルトランスフォーメーション(DX)

課題解決のためのVISION

居住地に関わらず充実した仕事・サービスが得られ、豊かな生きがいを持てるレジリエントな社会プラットフォームの構築



大都市

中小都市

空間と情報を繋げ、働き易く、サービスが利用でき、生きがいが高まる社会

中山間地域

ターゲット

①活動供給のための社会活動プラットフォーム

②活動の豊かさを高めるアクション支援システムの開発

③少リソースで充実した健康・教育サービス

④どこに住んでも生きがいを持てる地域モデル

中部先進モビリティ実装プラットフォーム (Chubu Advanced Mobility Implementation Platform, CAMIP)

【CAMIPのビジョン例】 自動運転時代の名古屋都心部



(名古屋都市センター作成)

中部先進モビリティ実装プラットフォーム (Chubu Advanced Mobility Implementation Platform, CAMIP)

【CAMIPのビジョン例】 自動運転時代の名古屋都心部

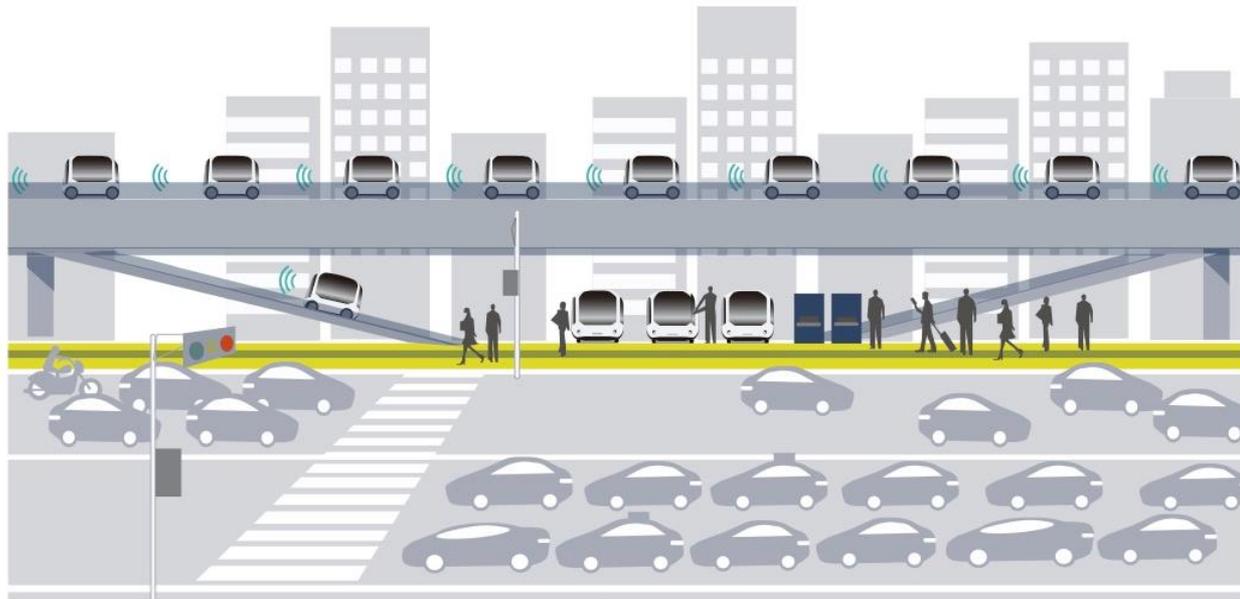


(名古屋都市センター作成)

中部先進モビリティ実装プラットフォーム

(Chubu **A**dvanced **M**obility **I**mplementation **P**latform, **CAMIP**)

【CAMIPのビジョン例】 Personal Rapid Transit



- 小型EV（1～4名乗り）を専用道路（またはレーン）上で自動運転し、車間距離を短くすることで、1500人/h（ゆとりーとライン高架部のピーク時需要）以上の輸送能力
- 端末部を手動運転にすれば、ドアツードアで乗り合わない中量輸送システムを早期に提供可能

中部先進モビリティ実装プラットフォーム

(Chubu **A**dvanced **M**obility **I**mplementation **P**latform, **CAMIP**)

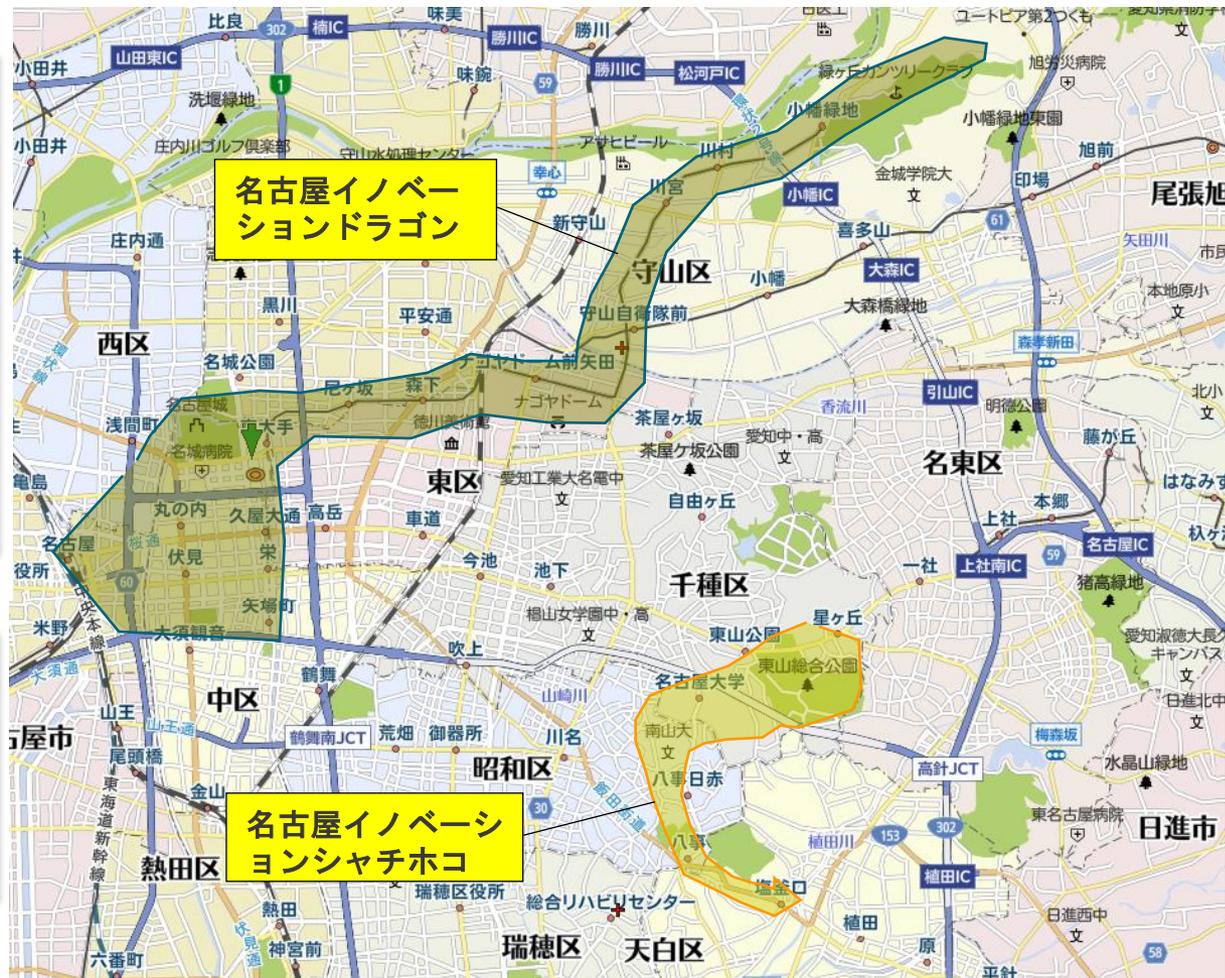
【CAMIPのビジョン例】名古屋でのイノベーション特区

ドラゴンエリア

- SRT
- PRT
- 三の丸地区大改造
- 錦二丁目
- 栄三丁目
- 久屋大通公園
- イノベーションハブ

シャチホコエリア

- 東部丘陵大学連携
- 星が丘地区大改造
- 東山総合公園活用



中部先進モビリティ実装プラットフォーム

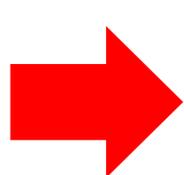
(Chubu Advanced Mobility Implementation Platform, CAMIP)

【CAMIP支援プロジェクト】(本日より紹介)

① SRT車両開発 (名古屋市)

② 高蔵寺ニューモビリティタウン
(春日井市・名古屋大学)

③ MaaS in 静岡×情報銀行
(中部電力・静岡鉄道)



他にも有力候補あり。

各プロジェクトの課題等を把握し、CAMIPとして
すべきミッションを決めて、随時アクションしていく。

中部先進モビリティ実装プラットフォーム

(Chubu **A**dvanced **M**obility **I**mplementation **P**latform, **CAMIP**)

【CAMIP運営体制】

当面はバーチャル事務局組織を中部経済連合会と名古屋大学に設置

中経連：産業・技術委員会を基本母体とし、国および自治体にも入って頂く拡大委員会を形成

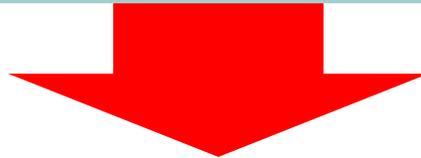
名 大：「CAMIP研究組織」を取りまとめ（次ページ）

CAMIP登録研究組織（2021.5.12現在）

- **名古屋大学** 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所
- **名古屋工業大学** 社会工学専攻 交通研究室
- **豊橋技術科学大学** 建築・都市システム学系 都市・交通システム研究室
- **岐阜大学** 工学部 社会基盤工学科 倉内研究室
- **静岡大学** 情報学部 高口研究室
- **信州大学** 総合工学系研究科 高瀬研究室
- **愛知県立大学** 情報科学部 小栗研究室
- **名城大学** 理工学部 社会基盤デザイン学科 松本研究室
- **大同大学** 工学部 交通系研究室
- **(公財)豊田都市交通研究所**

CAMIP今後の進め方

- CAMIP支援プロジェクトを推進する。
支援しながら本質的な課題を見極め、解決策を策定する。
- 産学官それぞれのご意見を聞きながら、CAMIPのあるべき姿を描き、産学官連携のための基盤的合意形成を図る。



2023年度末までに、CAMIP運用体制を確立